

## 第2期日光市まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和4年度進捗状況

### 基本目標1 安心して働くことができ、安定した生活を支える「しごと」をつくる

#### 《成果指標（2025年）》

指標		現状値	2021	2022	2023	2024	2025
納税義務者の総所得金額（千円）	目標	—	—	102,152,376	102,250,000	102,250,000	102,350,000
	実績	102,152,376	102,152,376	102,603,135			

#### 《重要業績評価指標(KPI)》

指標		現状値	2021	2022	2023	2024	2025
サロンを活用した新規起業者数(累計)(人)	目標	—	—	31	38	46	55
	実績	20	24	30			
ビジネス交流会マッチング出展社数(社)	目標	—	—	7	8	9	10
	実績	7	未実施	9			
認定農業者数(人)	目標	—	—	271	271	271	271
	実績	271	275	274			

#### 【特記事項】

##### 戦略①雇用の確保

- ・ 合同就職説明会・面接会は年齢制限を撤廃したが、若年層の参加者が少なく就業率が低かったため、今後は、高校生を始めとした若年層への周知啓発を図る。
- ・ 地域の状況等に精通したアドバイザーや県のよろず支援センターと連携して、起業前や起業時のサポートを実施した。
- ・ 日光産業団地への企業誘致の基本方針を策定し、地域特性を活かした企業誘致の推進を図った。今後も立地可能性のある企業に対し、情報提供や企業訪問を実施するなど積極的な誘致活動を行う。

##### 戦略②多産業連携によるしごとの創出

- ・ 東京圏で市内1次、2次、3次産業事業者の商品の展示即売及び取組のPRを実施した。今後は、生産段階での農産物の安定供給、加工段階での技術とノウハウ共有、販路確保に向けた支援を行う。
- ・ 加工用もち米の生産を支援するため、日光産米販路拡大支援事業費補助金を創設した。今後は、更なる加工用もち米の作付け定着に向け、生産農家の増加を図り、観光や商工業との連携を促進する。
- ・ 認定農業者は増加傾向にあるものの、高齢化が進み、後継者不足が深刻であることから、国等の補助制度を活用しながら、経営承継や新規就農を支援する。

## 基本目標2 地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる

### 《成果指標(2025年)》

指標		現状値	2021	2022	2023	2024	2025
観光入込客数 (万人)	目標	—	—	1,040	1,090	1,170	1,250
	実績	834.4	789	872.3			

### 《重要業績評価指標(KPI)》

指標		現状値	2021	2022	2023	2024	2025
社会動態の改善 (転入－転出) (人)	目標	—	—	△430	△366	△326	△286
	実績	△446	△355	△286			
空き家情報を活用した 移住者数(累計) (人)	目標	—	—	44	51	60	70
	実績	32	33	35			
ワーケーション実施支援 事業補助件数(累計) (件)	目標	—	—	36	60	84	108
	実績	10	13	40			

### 【特記事項】

#### 戦略①観光地づくりの推進

- ・東京圏ターミナル駅の巨大サイネージ活用やインフルエンサー等の招聘など、様々な媒体を活用し効果的な情報発信を行った。引き続き関係団体と連携しながら、首都圏向けに積極的なプロモーションを行い、観光誘客に注力していく。
- ・日光西町の回遊を図るため、民間事業者と共同でグリーンスローモビリティを導入した。今後は、運行時間やルートの見直しを行うなど、更なる乗車人数の増加を図る。
- ・英語以外の語学に堪能な職員がいないため、非常勤ボランティアに依存している状況である。日光市観光協会を中心に、観光ガイド育成や人材確保を図る。
- ・DMO日光、日光市観光協会、市の三者で策定したインバウンド誘客アクションプランを策定した。今後は、外部専門人材の知見等を踏まえ、ターゲットにあった効果的な観光プロモーションを行い、外国人観光客の誘致を図る。

#### 戦略②定住促進

- ・HP「日光暮らし」で移住に関する情報を発信した。今後は、移住検討者の欲しい情報等を検証し、ニーズにあった情報の充実を図る。
- ・都内やオンラインで移住イベント、移住相談会を実施した。今後は、移住セミナー参加者対象の移住体験プログラムを行い、市の魅力を伝える機会を拡充する。
- ・新型コロナウイルス感染症におけるワーカーの働き方の意識と行動の変容を機会と捉え、多様な働き方推進事業を実施した。この中で、ワーケーション実施支援事業を制度化し、リモートワーカーの誘致・誘客促進を図った。

## 基本目標3 若い世代の「結婚・出産・子育て」に対する希望をかなえる

### 《成果指標(2025年)》

指標		現状値	2021	2022	2023	2024	2025
出生数の減少を抑制する(人)	目標	—	—	347 (△19)	330 (△17)	315 (△15)	300 (△15)
	実績	383	312 (△71)	292 (△20)			

### 《重要業績評価指標(KPI)》

指標		現状値	2021	2022	2023	2024	2025
保育所等利用待機児童の割合(%)	目標	—	—	0	0	0	0
	実績	0	0	0			
ファミリーサポートセンター会員数(人)	目標	—	—	280	280	280	280
	実績	269	272	268			

### 【特記事項】

#### 戦略① 出産・子育て環境の整備

- ・とちぎ結婚支援センター入会登録料の半額助成を行っている。今後は、独身者のニーズを捉え、出会いの場の創出に向けて民間事業者と連携した事業を実施する。
- ・保育施設等の適正配置を進める中、今市地域において新たな公立保育園の建設に着手した。今後は、少子化を見据えた上で、公立保育園の役割を明確化し、民間施設への効果的な利用調整等、民間との共存共栄を図り、幼児教育・保育サービスの充実を図る。
- ・保護者の仕事と育児の両立のため設置しているファミリーサポートセンターにおいては、今後共助による相互援助活動の重要性が高くなることから、会員確保に向けた取組を充実するなど、必要な人に質の高いサポートができるよう体制強化を図る。
- ・子育て世代包括支援センターを中心に関係機関と連携し、妊産婦・乳幼児等の状況を継続的・包括的に把握し、切れ目のない支援を行っている。今後は、「こども家庭センター」において、民間団体と連携しながら、多様な家庭環境等に関する支援体制の充実・強化を図る。

## 基本目標4 地域特性に応じた持続可能な「まち」をつくる

### 《成果指標(2025年)》

指標		現状値	2021	2022	2023	2024	2025
人口 70,000 人を目指す(人)	目標	—	—	76,000	74,000	72,000	70,000
	実績	77,661	76,462	75,175			

### 《重要業績評価指標(KPI)》

指標		現状値	2021	2022	2023	2024	2025
健康寿命の延伸(男性)(歳)	目標	—	—	79.23	79.35	79.48	79.60
	実績	79.10	—	—			
健康寿命の延伸(女性)(歳)	目標	—	—	84.18	84.30	84.43	84.55
	実績	84.05	—	—			
包括連携協定数(累計)(件)	目標	—	—	14	16	19	22
	実績	12	15	16			
市民活動支援センター登録団体数(団体)	目標	—	—	171	174	179	185
	実績	168	174	177			

#### 【特記事項】

#### 戦略①市民等との協働の推進

- ・市民と市長が直接対話することで市政に対する理解を深め、まちづくりについて共に考えることを目的に、市内9地域・地区ごとにまちづくり懇話会を実施した。
- ・市民活動支援センター登録団体の活動の周知を図るなど、センターの利用促進を図った。今後は、未利用者への周知や団体登録の促進のための情報発信を積極的に行う。
- ・民間企業等との連携を図る中、カーボンニュートラルの推進、一人暮らしの見守り、経営健康等の分野で包括連携協定に基づく連携事業を行った。

#### 戦略②多様な社会参加の推進

- ・自治会活動の活性化に向けて、ガイドブックの配布や市広報紙への掲載など自治会への参加を促進した。今後更なる自治会活動参加促進のため、加入促進マニュアルを作成するなど、地域コミュニティの活性化を図る。
- ・健康診査、健康相談、訪問指導、健康教育、健康マイレージ事業、精密検査未受診対策など、健康増進に向けた各種事業を実施した。今後は、医療費や死亡等のデータに基づく、重点対策疾病について、医療機関や医師会との協議を進める。
- ・魅力ある地域づくりに向け、市内高校や包括連携協定を締結している大学との連携を中心に、地域で活動する大人、団体等との交流を図った。